## 電算機演習1 2006年A組第3週目

### 池口徹

#### 埼玉大学 大学院理工学研究科 研究部 数理電子情報部門

〒 338-8570 さいたま市 桜区 下大久保 255

Tel: 048–858–3577, Fax: 048–858–3716

Email: tohru@ics.saitama-u.ac.jp

URL: http://www.nls.ics.saitama-u.ac.jp/~tohru

## 今日の講義は?

- □ コンピュータを使う
  - 1. Emacs (エディタ) の使い方を学ぶ (続き).
  - 2. LAT<sub>E</sub>X **で文書を作る**.
- ☞ コンピュータ利用の手引 2006 年度版 Part III UNIX 編
  - 1. 第6章 Emacs **の使用法**

- □ Emacs が起動するときは,
  - .emacs n .emacs.el
  - というファイルに記述されている内容を初期として読み込む.
- <u>演習 1</u> 各自のホームディレクトリ下に,上記のファイルがあるかど うかを確認してみよう.
- 演習2 もし存在する場合,その内容を確認してみよう.
- 演習3 emacs を起動するときに,
  - % emacs -q
  - としたらどうなるか?

- □ .emacs を記述する言語は Lisp (List processor , リスト処理言語) を Emacs 用に拡張した Elisp (Emacs Lisp)
- □ Elisp の文法を覚えるのは,別の電算機演習がいるぐらいなので,この講義では,全てを説明しない.
- □ しかし, .emacs の「見本」のようなものがあると,面白いと思うので,それを紹介します.
- □ 見本の .emacs とそれを用いる場合に必要となるファイルを用 意してあるので、それを使おう。

- <u>演習 4</u> .emacs **例を用いて**, Emacs **のカスタマイズに挑戦してみよう**.まずは,以下の手順に従って準備をする.
  - 1. ホームディレクトリ直下に,以下のディレクトリを作成する.
    - site-lisp
    - etc
  - 2. http://jwww.ed.kagu.tus.ac.jp/~tohru/ から site-lisp.tar をダウンロードし,各自のホームディレクトリに保存する.
  - 3. **以下のコマンドにより,上記の** site-lisp.tar **を展開** 
    - % cd
    - % tar tvf site-lisp.tar ← ファイルの確認
    - % tar xvf site-lisp.tar ← ファイルの展開
  - 4. site-lisp.tar を展開した結果, ~/site-lisp に以下のファイルが出来ているか確認.
    - dotemacs.sample
    - color-theme.el
    - jaspace.el

- 演習 4 .emacs **例を用いて**, Emacs **をカスタマイズをやってみよう**. まずは,以下の手順に従って準備をする(続き).
  - 5. http://www.yatex.org/から yatex1.72.tar.gz をダウン ロードし, site-lisp に保存する.
  - 6. 以下のコマンドにより,上記のファイルを展開・解凍 % gunzip yatex1.72.tar.gz ← ファイルの展開 % tar tvf yatex1.72.tar ← ファイルの確認
    - % tar xvf yatex1.72.tar ← ファイルの解凍
  - 7. その結果 , site-lisp に yatex1.72 というディレクトリ が出来ている (はず)
  - 8. 以上で準備は終了.

- 演習 4 .emacs 例を用いて, Emacs をカスタマイズをやってみよう. まずは,以下の手順に従って準備をする(続き).
  - 9. .emacs の例が, site-lisp 内にある dotemacs.sample である.
  - 10. .emacs のサンプル (dotemacs.sample) を使って, Emacs を起動してみよう.
    - % emacs -l dotemacs.sample
      とすると,-l の次に指定したファイルを初期化ファイルと
      して,Emacs を起動することができる。

演習 5 教科書 p.337 ~ 及び ダウンロードした . emacs のサンプルファイル (dotemacs.sample) を見て,変更をしてみなさい. 例えば,

- 起動時の画面の大きさの変更
- スクロールバーを消す or 左に出す
- カーソルの変更
- 色の組み合わせの変更
- ネット上にもこの種の情報は多数存在する.それらも参考にすると良い.
- 演習 6 dotemacs.sample を自分の.emacs にしておこう.
  - **→ ファイルを移動する.**
  - % mv dotemacs.sample ~/.emacs
- 注意 ただし, emacs を上書きすることになるので,安全のため,現在の emacs を別名でコピーしておく.
  - % mv .emacs .emacs.org

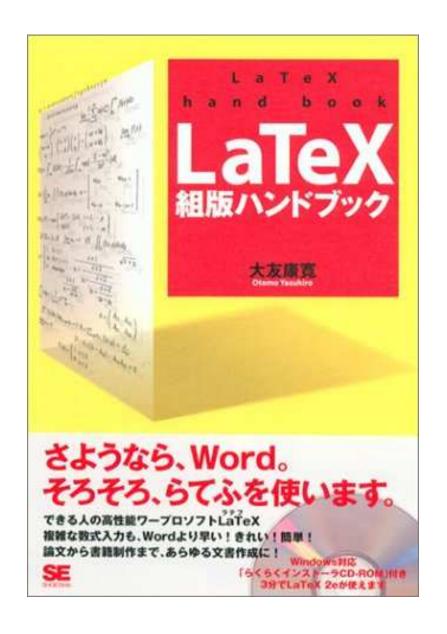
## MEXとは?

- □ 文書整形ソフト
- □ 読みは「ラテフ」「ラテック」など.
- □ 特徴
  - 文章の仕上がりが綺麗.フォントも綺麗.
  - 数式の表現が用意.
  - フリー(無料).
  - マークアップ言語の一種.
  - WYSIWYG ではない.

#### □ 歴史

- T<sub>F</sub>X by Donald Knuth
- Lamport
- $\text{LAT}_{\mathsf{E}} \mathsf{X} \, 2_{\varepsilon}$  **,日本語**  $\text{LAT}_{\mathsf{E}} \mathsf{X} \, 2_{\varepsilon}$
- pTEX, pLATEX

## テキスト



## IATEX 文書作成の基本 (p.xiii)

\documentclass{jarticle}

プリアンブル

\begin{document}

本文

\end{document}

- - へーンンの設定
  □ 高さ,幅の設定
  □ パッケージファイルの指定
  □ その他 左右上下マージンの設定

#### 注意!

- □ PTFX で用意されいている 命令は、全て半角である。
- □ 中括弧は開いたら,必ず閉 じること.つまり,{と} は,必ず対になっている.

## IATEX 文書作成の基本 (p.xiii)

\documentclass{jarticle}

第一行目は , 「どんな文書を書きたいのか」と いうことの指定 .

\begin{document}

本文

\end{document}

- □ 左右上下マージンの設定
- □ 高さ,幅の設定
- □ パッケージファイルの指定
- □ その他

#### 注意!

- □ LATEX で用意されいている 命令は,全て半角である.
- □ 中括弧は開いたら,必ず閉じること.つまり,{と}
  は,必ず対になっている.

# IATEX 文書作成の基本 (p.xiii)

\documentclass{jarticle}

第一行目は , 「どんな文書を書きたいのか」と いうことの指定 .

\begin{document}

#### 本文の始まりと終りが

\begin{document}

لح

\end{document}

の組になっている.

\end{document}

- □ 左右上下マージンの設定
  - 」高さ,幅の設定
- □ パッケージファイルの指定
- □ その他

#### 注意!

- □ LATEX で用意されいている 命令は、全て半角である。
- □ 中括弧は開いたら,必ず閉じること.つまり,{と}
  は,必ず対になっている.

## IATEXの使い方の流れ

- □ ソースファイル (例えば foo.tex というファイル) を作る.
  - % emacs foo.tex
- □ ソースファイルをコンパイルする.
  - % platex foo.tex により foo.dvi という DVI ファイルが作成される.
- □ DVI ファイルをプレビューして,出来上がりを確認する.
  - % xdvi foo.dvi
- □ 出来上がりが OK となれば,印刷する.
  - % dvips foo.dvi

## IATEX の使い方

#### 演習7 前回作成した自己紹介文を,LATEX で作成しなさい.

- ファイルネームは
   j4406xxx.tex (全て半角英数字, xxx の部分は各自の学籍番号)
- 保存先は,~/2006/jun
- 作成したソースファイルをコンパイル,プレビューしなさい.
- ヒントEmacs でのファイルの挿入は C-x i

## 縦組文書 (p.9)

#### 演習8 縦組文章を作りなさい.

- 今作成した自己紹介文を用いる.
- わざわざ縦書き用のソースファイルを作らない.
- 二段組にしてみなさい。テキストの p.11 を良く読んで,自分で考えなさい。